

令和3年12月1日
日本赤十字社北海道支部

救急法基礎講習開催団体の皆さん

講習開催における留意事項について ～新型コロナウイルス感染症関連～

この度は、赤十字講習の開催を計画いただき、ありがとうございます。
受講者の皆さまの安全確保と感染防止を考慮した方法で、講習を実施させていただきます。
つきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について当面の間は下記のとおりご理解とご協力をいただきたくよろしくお願いいたします。

1. 会場について

- 3つの密（密閉・密集・密接）の防止が図られる会場を準備願います。
 - ・十分な換気ができ、可能な限り2つの方向の窓を同時に開放できることが望ましいです。
 - ・人との間隔は2m程度確保することができる広い会場が望ましいです。
 - ・参加者が多数になる場合には、会場の変更や実施回数を複数回に分けるなどの対応をお願いいたします。
 - ・会場の確認事項は、別紙2「安全法講習・防災セミナー実施チェックリスト（指導員・指導者記入用）」を参考にしてください。

2. 内容について

- 各講習の短期講習と救急法基礎講習を再開しますが、以下の内容は実施できないので、ご了承ください。
 - ・心肺蘇生の中での人工呼吸（呼気吹き込み法）の練習。
 - ・人と人が接触する実技（止血、包帯、固定、搬送、リラクゼーション、毛布ガウン等）。
 - ・3つの密が避けられないグループワーク等（シミュレーションなど）。
- ※一般普及講習（養成講習）は、当分の間実施いたしません。

3. 受講にあたって

- ・体調がすぐれない受講者については、あらかじめ受講を控えていただきますようご配慮願います。
- ・消毒用アルコール等を主催者様にて準備いただき、開始前に手指消毒と検温をしてからご参加ください。（別紙4「【主催団体】感染対策資材」を参照願います）
- ・講習受講中は、常にマスク着用をお願いいたします。
- ・開催団体の担当者の方に同封の「健康チェック表」を記載いただき講習開始前に指導員へ提出願います。提出をもって受講者の健康状態を確認し、講習を実施させていただきます。

- ・「健康チェック表」に基づき、事前に受講者の体温チェックを行い、記入をお願いいたします。
- ・講習中は、指導員の指示に基づき、感染防止対策にご協力願います。

4. 準備のお願い

- ・受講者全員がマスク着用のうえで受講いただけるようご配慮願います（予備の準備）。
- ・手指消毒用アルコール等のご準備をお願いいたします。
- ・3密を防ぐことができる会場の準備をお願いいたします。
- ・受講者の緊急連絡先を把握していただき、万が一感染が発生した場合の備えをお願いいたします。
- ・救急法基礎講習は一回あたりの講習受講人数を原則10名とし、受講者には講習前日までに日本赤十字社作製の動画「一次救命処置（BLS）-心肺蘇生とAED-」及びWEBCROSSの動画「手当の基本」を視聴するよう、開催案内等で依頼してください。（別紙5に動画の2次元コードの記載があります。）

5. 万が一感染が確認された場合について

- ・講習受講者の中で感染者が確認された場合は、速やかに下記の問い合わせ先まで報告いただきますようお願いいたします。
- ・講習開始前、講習中にかかわらず講習終了後においても感染者発生の情報がある場合は、以下の問い合わせ先にご連絡願います。
- ・講習会受講中等の事故に対する保険制度であるセーフティプログラムは、新型コロナウイルス感染症感染に対して適用されないことから、事前に受講者や関係者にその旨を説明し、了承を得ておくようお願いいたします。

6. 添付資料

- (1) 健康チェック表（別紙1）
- (2) 安全法講習・防災セミナー実施チェックリスト（指導員・指導者記入用）（別紙2）
- (3) 新型コロナウイルス感染症にかかる安全法講習・防災セミナーでの注意事項について（別紙3）
- (4) 【主催団体】感染対策資材（別紙4）
- (5) 赤十字救急法基礎講習の実施にかかる暫定措置の留意点について（別紙5）
- (6) 正しい手洗いの方法
- (7) 新しい生活様式

お問い合わせ

日本赤十字社北海道支部 事業推進課
〒060-0001 札幌市中央区北1条西5丁目
TEL : 011-231-7126
E-mail : kyuugo@hokkaido.jrc.or.jp

【主催者⇒指導員・指導者⇒主催者⇒日赤北海道支部へ提出】

健康チェック表

講習日 年 月 日

氏名	受講者		指導員・指導者
状態・症状の項目		現在の状況	
体温	°C		
鼻汁・鼻閉	あり	なし	
咽頭痛	あり	なし	
咳	あり	なし	
呼吸困難	あり	なし	
全身倦怠感	あり	なし	
味覚障害・嗅覚障害	あり	なし	
頭痛	あり	なし	
嘔気・嘔吐	あり	なし	
下痢	あり	なし	
その他	()		
直近2週間以内に 発熱や上記の症状はありませんか	あり	なし	
生活環境の項目		該当の有無	
2週間以内に法務省・厚生労働省が定める諸外国への渡航歴がある方（及びそれの方と家庭や職場内等での接触歴がある方）	あり	なし	
2週間以内に新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者（同居者・職場内での発熱含む）との接触歴がある方	あり	なし	
新型コロナウイルスの患者に濃厚接觸の可能性があり、待機期間内（自主待機も含む）の方	あり	なし	
対応策の項目		実施の状況	
手指消毒はしましたか	はい	いいえ	
マスクは着用していますか	はい	いいえ	

【参加条件】

○状態・症状の項目

体温37.5度以下、すべての項目が「なし」もしくは「いいえ」であること

○対応策の項目

すべての項目が「はい」であること

赤十字安全法講習・防災セミナー実施チェックリスト（指導員・指導者記入用）

実施日	年　月　日	記入者		
主催者		講習・防災セミナー 会場		
実施前	【環境整備】			
	<input type="checkbox"/>	講習・防災セミナー会場が十分な換気ができている。 (可能な限り2つの方向の窓を同時に空けること)		
	<input type="checkbox"/>	人と人との間隔が2メートル程度確保できている。		
	<input type="checkbox"/>	使用する資機材及び物品の消毒が適切に実施できている。		
	【指導員・指導者自身の準備等】			
	<input type="checkbox"/>	健康チェックが実施できている。（健康チェック表等を記載する。）		
	<input type="checkbox"/>	手指消毒が実施できている。		
	<input type="checkbox"/>	マスクを着用している。		
	<input type="checkbox"/>	受講者に対し、感染予防等の対策について適切に説明できている。		
	【受講者の確認】			
<input type="checkbox"/>	健康チェックが実施できている。（健康チェック表等を記載する。）			
<input type="checkbox"/>	手指消毒が実施できている。			
<input type="checkbox"/>	マスクを着用している。			
【内容の確認】				
<input type="checkbox"/>	人工呼吸（呼気吹込み法）の実技を実施しない。			
<input type="checkbox"/>	人と接触する実技を実施しない。			
<input type="checkbox"/>	3密が避けられないグループワークを実施しない。			
<input type="checkbox"/>	災害図上訓練（DIG）を実施しない。			
実施後	【後片付け及び確認】			
	<input type="checkbox"/>	使用した資機材、物品の消毒が適切に行われている。		
	<input type="checkbox"/>	体調不良者発生の有無の確認とその報告が行われている。		
	名	本講習に参加できなかった。並びに体調不良で途中退席となった人数を把握する。		

【受講者の皆さまへ】

新型コロナウイルス感染症にかかる赤十字安全法講習・

防災セミナーでの注意事項について

日本赤十字社では、安心、安全に講習を受けていただけるよう、感染症の発生防止のために、十分な感染予防に留意して実施します。

また、参加いただいた皆様自身もご留意いただき、安全に講習・防災セミナーがすすめられるようご協力をお願いいたします。

記

○講習・防災セミナーの前には、健康チェック表による体調のチェックをお願いします。

状況によっては、講習・防災セミナーにご参加いただけない場合があります。

○講習・防災セミナー前後には、十分な手指消毒（手洗い）を行ってください。

○講習・防災セミナー中はマスクの着用をお願いします。

指導員・指導者もマスクを着用して指導を行いますが、ご理解ください。

○講習・防災セミナー中はソーシャルディスタンス（人と人との距離を2メートル程度の間隔をあける）の確保をご協力ください。

○講習・防災セミナー中（休憩時も含む）はこまめに水分を補給するとともに、大声を出さないなど、飛沫感染防止策を適切に講じてください。

○お部屋の窓（又はドア）を開けて、十分な換気を行います。

○体調が悪いときには、速やかにお申し出ください。状況により、ご帰宅をお願いする場合があります。また、指導員・指導者の判断により、講習・防災セミナーを中止することがありますのでご理解ください。

○ご帰宅後、体調の変化が見られた時には、主催者の方へご連絡をお願い致します。

なお、万が一感染が発生した場合に備え、主催者に緊急連絡先等の情報を提供いただいていることをご了承ください。

お一人お一人の感染予防が、ご自身と参加していただいた方のいのちと健康を守ります。安全に講習・防災セミナーが行えるようご協力をお願いいたします。

【主催団体】感染対策資材

- ・主催団体様は、受講者の感染対策資材として、以下の資材を用意願います。
- ・資材の準備で、不明な点は日本赤十字社北海道支部事業推進課あてご相談ください。

NO.	品 名	数	備 考
1	マスク	枚	受講者用（参加者本人が用意しても可）
2	手指用アルコール消毒液	数本	ハンドジェルタイプでも可 会場に配置
3	ビニール手袋	枚	受講者用（参加者本人が用意しても可）
4	ゴミ袋	適当	
5	非接触型体温計	2-3個	受講前測定用
6	健康チェック表（別紙1）	枚	赤十字から郵送
7	安全法講習・防災セミナー実施チェックリスト（別紙2）	枚	赤十字から郵送
8	安全法講習・防災セミナーでの注意事項（別紙3）	枚	赤十字から郵送（「手洗いの方法」添付）
9	【主催団体】感染対策資材（別紙4）	枚	赤十字から郵送
10	除菌シート	枚	床に敷く敷物（ゴザ）の消毒用
11	消毒剤、雑巾等	適宜	机、椅子消毒用
12	養生テープ	2-3本	距離を図り、目安とする
その他	新しい生活様式	見本	会場貼付用（赤十字から郵送）

赤十字救急法基礎講習の実施にかかる暫定措置の留意点について

受講者同士の間隔は原則、2m程度確保することとしているが、実技やグループワークを実施する際に、マスクを着用し、大声を出さないなど、飛沫感染防止策が適切に講じられている場合は、人との間隔を最低1メートル以上、確保すること。

1 体位変換

- (1) WEB CROSS の動画「手当の基本」を講習前に視聴してもらい、受講者に体位変換のイメージを掴んでもらいます。

【WEB CROSS の動画は以下のリンクまたは二次元コードから】

<https://www.youtube.com/watch?v=3MDTRdW4sSM>



- (2) 以下の【パターンA】もしくは【パターンB】の方法で行います。



【パターンA】

救助者役は傷病者に見立てた人形を使用して行う。



【パターンB】

原則、2m程度間隔を確保した場所から傷病者役の動作を口頭で説明し、傷病者役に動いてもらう。

2 一次救命処置

「動画でみる一次救命処置」の視聴

受講者が2体の人形を使用した実技のイメージを掴めるよう、講習前に動画を視聴してもらいます。

【一次救命処置の動画は以下のリンクまたは二次元コードから】

https://www.youtube.com/watch?v=N_b5wYiRwZE



～一次救命処置の流れ～



全体実技開始の準備

2体の人形を*原則、2m程度間隔をあけて設置する。AEDトレーナーは「救助者A」が手当する訓練用人形の近くに事前に準備しておくといい。

↓



傷病者の発見～

受講者は割り当てられた人形を使用し、実技を行う。

観察や確認の際の発声は、適切な大きさで行う。

↓



協力者を求める

協力者役の2人は、「救助者A」から原則、2m程度離れた場所に歩み寄る。

↓

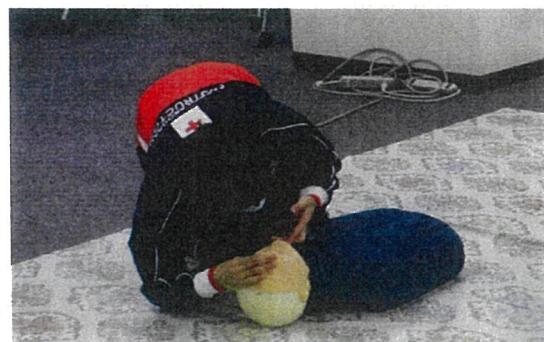


心肺蘇生の実施

胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回を繰り返し実施する。

※人工呼吸は吹き込みの姿勢のみ

※呼気吹込み用具は装着する



↓



AED の到着

「救助者 B」は AED を持ってきたものとして、割り当てられた訓練用人形のもとに駆け寄る。「救助者 A」が「心肺蘇生を替わってください。」と発声後に心肺蘇生を開始する。

「救助者 A」は事前に準備していた AED トレーナーを取り、対応する。

↓



AED による除細動

「救助者 A」及び「救助者 B」は、それぞれ割り当てられた人形を使用し、手当を実施する。

※従来であれば、1 体の人形で向かい合って手当を実施していた部分。



救急隊への引き継ぎ

救急隊は*原則、2m程度離れた場所
から声をかける。

3 気道異物除去

(1) 背部叩打法を実施する様子



(2) 腹部突き上げ法を実施する様子



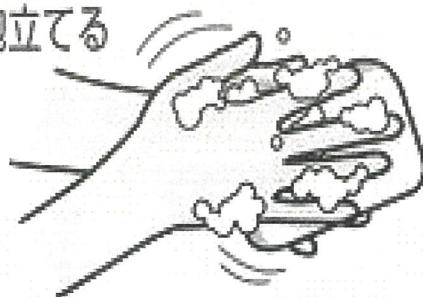
4 検定

実技検定においては、受講者同士の間隔等、感染対策に十分配慮して実施する。

正しい手洗いの方法

- ・の20秒が目安
- ・使い捨てペーパータオルの使用が勧められる
- ・時計や指輪は外す
- ・指先と爪の間を洗う。
- 「ハッピーバーステートゥーゴー」

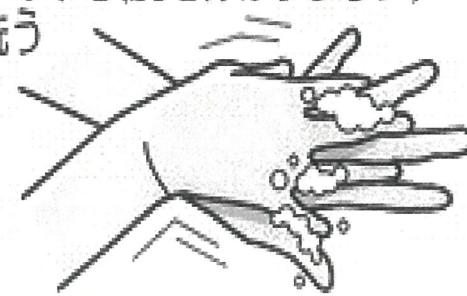
① 手をぬらし、せっけんを泡立てる



② 手のひらを洗う



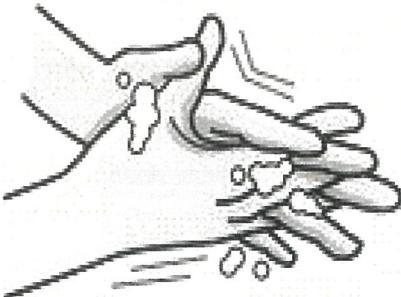
③ 手の甲を(皮を伸ばすように)洗う



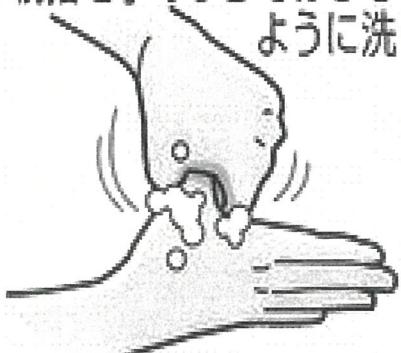
④ 指先と爪の間を洗う



⑤ 指を1本ずつ、指の間も洗う



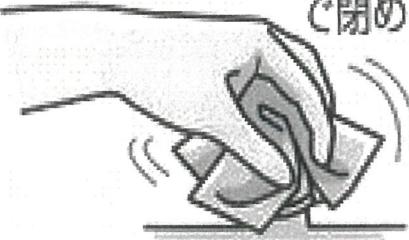
⑥ 親指を手のひらでねじるように洗う



⑦ 手首を洗い、最後に流水で十分すすぐ



⑧ ペーパータオルで手を拭く。
水道の栓はペーパータオルで閉める



新しい生活様式

～新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために～

